



新型「e SKY」

広 報 資 料

P R E S S I N F O R M A T I O N

私たちは新型「e SKY」の開発にあたり、「EVである前に、軽自動車である」という考え方のもと、毎日を支えるクルマとして、これまでの軽自動車と変わらない使いやすさと、EVならではの快適さを日常に馴染むかたちで両立することを目指しました。

商品コンセプトは「Easy to Switch」です。いつもの軽自動車から自然にEVへ乗り換えていただきたいという思いを込めて開発いたしました。

新型「e SKY」は、軽自動車としての実用性に加え、EVに対する大きな不安である一充電走行距離や経済性にも真剣に向き合いました。

その答えとしてたどり着いたのが、日常使いに必要な性能をしっかりと満たしながら、少ない電気で長く走れるベーシックな軽ワゴンです。

スズキが長年培ってきた軽自動車づくりの技術を結集し、「小・少・軽・短・美」を体現する1台となりました。

私自身、先代「アルト」のアシスタントチーフエンジニアとして開発に携わりました。軽自動車に求められる使いやすさや経済性、そしてお客様の日常に寄り添う価値を追求してきた経験を、今回の開発にも生かしています。

新型「e SKY」が、より多くのお客様にとってEVを身近な選択肢として感じていただくきっかけとなれば幸いです。



四輪軽自動車商品統括部
第2カーライン
チーフエンジニア
津幡 知幸

はじめに ～開発者の思い～	1
目次	2
商品コンセプト	3
商品特長	4
エクステリア	5
インテリア	6
ラインアップ・カラーラインアップ	7
EVパワートレイン	8
EV専用プラットフォーム「HEARTECT-e」	9
乗り心地・操縦安定性	10
収納・快適装備	11
サステナブル	13
ディスプレイオーディオ	14
つながるナビ	15
安全技術	16
アクセサリ紹介	17

Easy to Switch ㊤

従来のガソリン車にお乗りのお客様が違和感なく、これまで通りの感覚で運転でき、スムーズにEVへ“スイッチ”できる軽自動車であることを表現した言葉です。

日本の暮らしを長年見つめてきたスズキならではの視点で、誰にとっても扱いやすい“ベーシックな軽EV”を目指しました。



Photo:X ボディーカラーはイマージョンブルーパールメタリック ガンメタリック2トーンルーフ(F2Y)

開発で重視したポイント

- 一充電走行距離や充電に関する不安の払拭。
- EVらしい走りの良さと静粛性のバランス。
- 初めてのEVでも安心、ガソリン車から変わらない操作感。

少ない電気により遠くまで走れる 一充電走行距離

日常使いから少し足を延ばしたお出かけまで安心してご利用いただける、“ちょうどいい”一充電走行距離を実現しました。

軽EVクラス
No.1※1

一充電走行距離※2

WLTCモード※3

(国土交通省審査値)

310km

交流電力量消費率※2

WLTCモード※3

(国土交通省審査値)

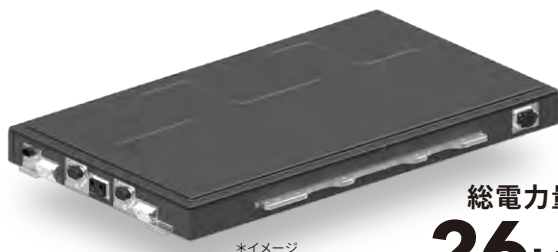
97Wh/km

市街地モード※3 73Wh/km

郊外モード※3 88Wh/km

高速道路モード※3 113Wh/km

●リン酸鉄リチウムイオンバッテリー (駆動用バッテリー)



*イメージ

総電力量
26kWh

※1 WLTCモード交流電力量消費率(国土交通省審査値)に基づく。2026年10月現在、スズキ調べ。 ※2 一充電走行距離および交流電力量消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて値は大きく異なります。 ※3 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。

*WLTC=Worldwide-harmonized Light vehicles Test Cycle

EVらしい静粛性と 自然なフィーリングを両立

自然な加速フィールとダイレクトな応答性を両立し、EVならではの高い静粛性とスムーズな走りを提供します。

●eAxe

アクセルを
そっと踏めば緩やかに、
強く踏み込めば
EVらしいなめらかで
力強い加速を発揮。



*イメージ

●軽EVプラットフォーム専用 サスペンション

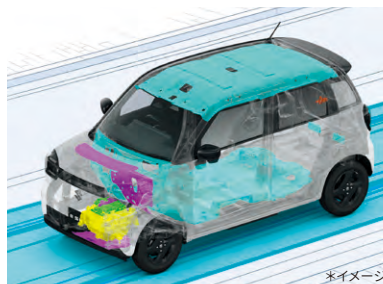
自然な走りと
上質な乗り心地で、
快適な運転を実現。



*イメージ

●優れた静粛性

防音材を
効果的に配置し、
ロードノイズなどを
抑えた静かな
室内空間に。



*イメージ

■室内吸音素材 ■バックアダンバー ■モータールーム内吸音材 ■eAxe ■INVカバー

軽自動車として “ちゃんと”使える実用性

軽自動車としての使いやすさを大切に、日本のくらしに寄り添う実用性を追求。ガソリン車から違和感なく乗り換えられる使いやすさを実現しました。

●優れた小回り性能を実現

最小回転半径

4.4m



*社内測定値

●視認性の高い 大画面ディスプレイ

X G 全方位モニター付ディスプレイオーディオ※4
スズキコネクテッド対応通信機装着車



●扱いやすい シフトレバー



●AC電源コンセント

[100V、1500W]

[非常時給電モード付]

(フロアコンソールトレイ後方) X



※4 全方位モニター付ディスプレイオーディオ・スズキコネクテッド対応通信機装着車はメーカーオプションです。

気持ちをポジティブにスイッチする、親しみやすさと先進感を両立したデザイン

SMART

(スマート)

余分なものをそぎ落とした
シンプルさと、EVらしい
先進感を両立

ICONIC

(アイコンック)

親しみやすく、
流行に左右されない
個性的な造形

COZY

(コージー)

日常使いの相棒として、
安心感と居心地の
良さを提供

軽快感

- キャビンをややかにする
フローティングルーフ
- 前側のピークから軽快に抜けていく
後ろ下がりのショルダーライン

安心感

- ハイショルダーによる
ボディの厚さ
- 力強い下半身の造形

親近感

- フロントの押し出し感を
抑えたフロントフェイス
- ボディサイドの豊かな面質



Photo:X ボディカラーはイマー ジョンブルーパールメタリック ガンメタリック2トーンルーフ (F2Y)

フローティングルーフと流れるショルダーラインが軽快感を演出。厚みある力強い造形と親しみやすい表情に、デジタル感あふれるランプを採用し、ホイールデザインが先進感を際立たせます。

Immersion Blue (イマー ジョンブルー)



気持ちがスイッチできるようなブルー



彩りを感じるアイコンックで
楽しいCピラー加飾パネル

デジタル感

灯火類は、デジタル数字のようなグラフィックを採用。各発光部の先端形状を丸めることによって、アイコンックなシグネチャーランプを表現しています。



日本初の量産軽自動車 「スズライト」のヘリテージ要素を採用

スズライトを彷彿と
させる前側のピーク
から軽快に抜けて
いく後ろ下がりの
ショルダーラインが
特長です。



先進感

ホイールは、水平、垂直の線使いを採用した
アイコンックなグラフィックで、先進感、デジタル
感を表現しています。



X
14インチ
アルミホイール



G
14インチ
フルホイールキャップ
[2トーン]



A
14インチ
フルホイールキャップ

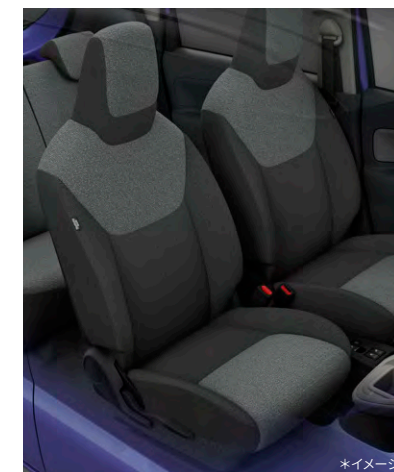
包み込まれるような安心感とのびやかなゆとりを兼ね備えた居心地の良い空間

COZY 乗員を包み込むラウンド空間

インパネからドアへ続く、乗員を包み込むラウンドラインにより、小さな空間を広く、居心地の良い空間に。



*イメージ



*イメージ

上質で快適なシートデザイン。特徴的なシート上部のファブリックと立体的な縫製シートで快適性を追求。

ICONIC 特徴的なインパネデザイン

大きくフラットなディスプレイと、陶器のようなトレイを融合させた温かみのあるインパネ。使いやすさとスタイリングを両立。



*イメージ

SMART 先進的なディスプレイとシンプルな意匠

EVに相応しいスマートなワイドディスプレイパネル。周囲のブラックパネルと調和する背景色とグラフィックデザイン。



*イメージ

ラインアップ

X 2WD
 総電力量 **26kWh**
 一充電走行距離^{※1} **310km**
WLTCモード ^{※2}
(国土交通省審査値)
 イメージンブルーパールメタリック
 ガンメタリック2トーンルーフ (F2Y)



G 2WD
 総電力量 **26kWh**
 一充電走行距離^{※1} **310km**
WLTCモード ^{※2}
(国土交通省審査値)
 フュージョンイエローパールメタリック
 ガンメタリック2トーンルーフ (FR1)



A 2WD 受注生産
 総電力量 **26kWh**
 一充電走行距離^{※1} **310km**
WLTCモード ^{※2}
(国土交通省審査値)
 ホワイート (26U)



※1 一充電走行距離は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて値は大きく異なります。 ※2 WLTCモード：市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。

カラーラインアップ

2トーン

ガンメタリック2トーンルーフ			ブラック2トーンルーフ	
New color				
	イメージンブルーパールメタリック ガンメタリック2トーンルーフ (F2Y)	フュージョンイエローパールメタリック ガンメタリック2トーンルーフ (FR1)	コーラルオレンジメタリック ガンメタリック2トーンルーフ (F3C)	ピュアホワイトパール ブラック2トーンルーフ (C2H)
				モスグレーメタリック ブラック2トーンルーフ (F3A)

モノトーン

ホワイート (26U)	ピュアホワイトパール (ZVR)	モスグレーメタリック (WBW)	ブルーイッシュブラックパール3 (ZJ3)	オフブルーメタリック (ZYW)	トニーブラウンメタリック (WB7)

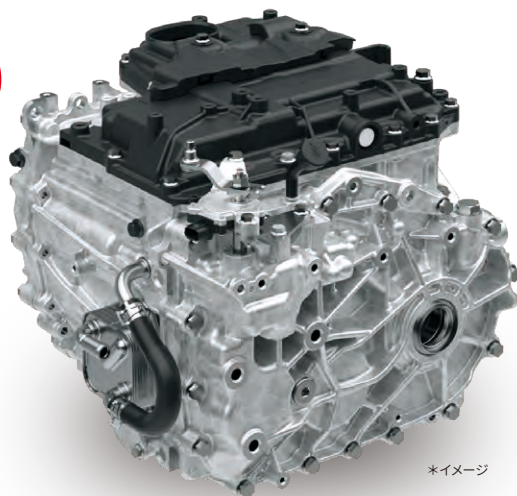
Photo:X、ホワイートのみG

	2トーン					モノトーン					
	ガンメタリック2トーンルーフ			ブラック2トーンルーフ		ホワイト (26U)	ピュアホワイト パール (ZVR)	モスグレー メタリック (WBW)	ブルーイッシュ ブラックパール3 (ZJ3)	オフブルー メタリック (ZYW)	トニーブラウン メタリック (WB7)
	イマージョンブルー パールメタリック (F2Y)	フュージョンイエロー パールメタリック (FR1)	コーラルオレンジ メタリック (F3C)	ピュアホワイト パール (C2H)	モスグレー メタリック (F3A)						
X	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●
G	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
A	—	—	—	—	—	●	—	●	—	—	—

モーター・インバーター・ギヤを一体化 「3in1システム」のeAxleを採用

お客様の快適なドライブ体験と環境への配慮を最優先するため、「省スペース化」「経済性」「静粛性」「信頼性」にこだわり、高品質なeAxleを開発しました。

独自
開発



*イメージ

重量 [kg]	約47
最大トルク [Nm]	133
最大出力 [kW]	47
最大回転数 [rpm]	15,000

モーター冷却は油冷方式を採用

オイルをかける位置と量を最適化することで、
モーターの温度上昇を抑え安定した出力と優れた電力効率を実現

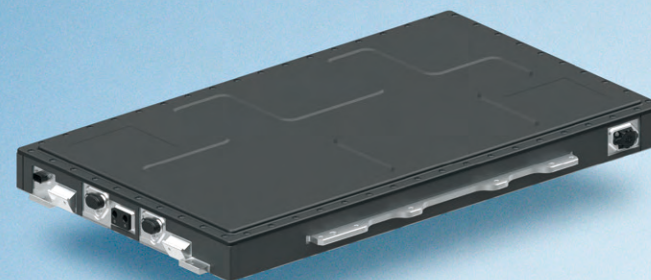
eAxleは、スズキ独自開発を行なうことで、軽自動車向けに最適化し、小型軽量高効率を特長とするユニットです。モーター、インバーター、ギヤを一体化した3in1構造とし、限られた搭載スペースの中で十分な性能を確保するため、小型高回転型モーターおよび直接水冷IGBTパワーモジュールの採用や、ギヤレイアウトも工夫しました。またモーターには油冷方式を採用し、オイルの供給位置、流量を最適化し、モーターの温度を抑え込むことで高効率と安定した出力を両立しています。さらにキャッチタンク構造によってギヤのオイル攪拌抵抗を低減するなど、細部まで効率向上を追求しました。これらの技術によりEV用ユニットの軽量化を実現し、一充電走行距離の延長に貢献しています。



四輪EV/
HEV駆動設計部
BEV駆動設計課
貞弘 真吾

安心・安全なリン酸鉄リチウムイオンバッテリーを採用

室内空間の最大化、十分な一充電走行距離、安心・安全で長寿命な性能を実現するため、薄型・フラット形状のリン酸鉄リチウムイオンバッテリーを駆動用バッテリーに採用しています。



安全性が高く
長寿命

シンプルで
薄い

車体構造に
活用

*イメージ

充電時間^{※1}

普通充電

3kW 約8時間^{※2}

6kW 約4.5時間^{※2}

急速充電 (X、G)

50kW
約25分^{※3}

小型・軽量のモーターを高回転化することで、
少ない電気(総電力量26kWh)で
一充電走行距離と走行性能を両立

軽EVクラス
No.1^{※4}

交流電力量消費率^{※5}

WLTC^{※6} (国土交通省審査値)

97 Wh/km

市街地
モード^{※6} 73 Wh/km

郊外
モード^{※6} 88 Wh/km

高速道路
モード^{※6} 113 Wh/km

一充電走行距離^{※5}

WLTC^{※6} (国土交通省審査値)

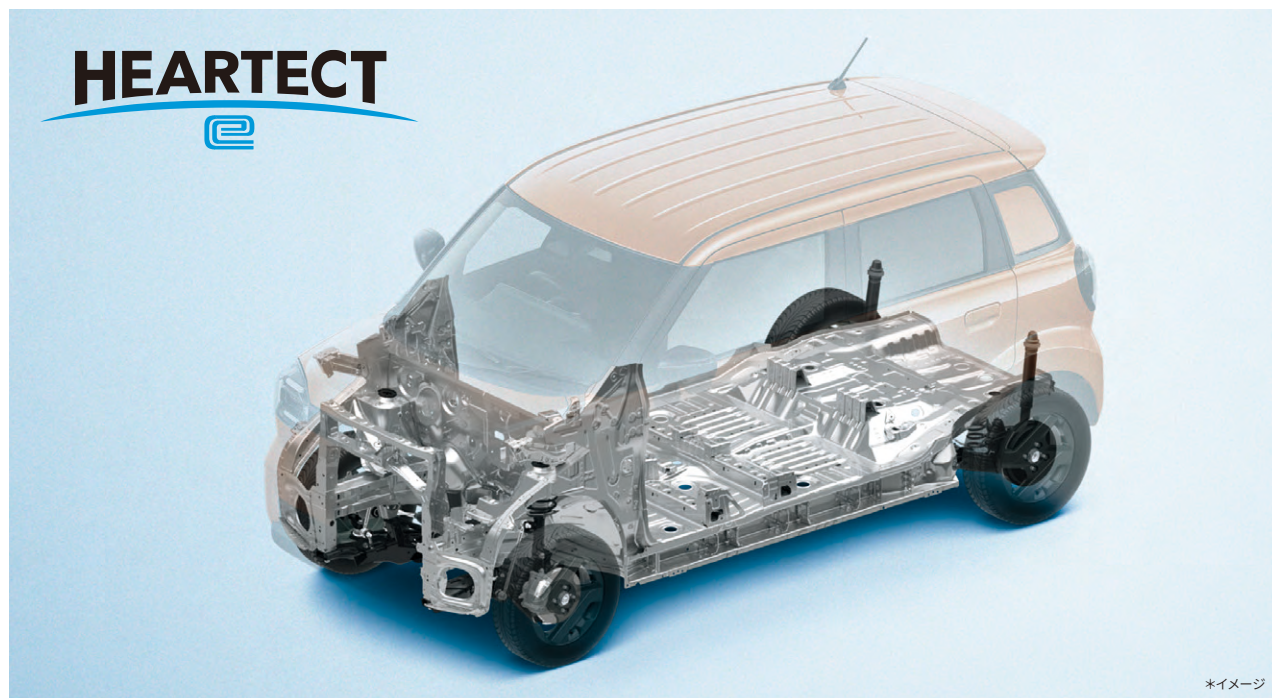
310 km

※1 充電時間はあくまで目安の時間で、バッテリーの残量や外気温、普通/急速充電器(スタンド)の仕様などの条件により、充電完了までに必要な時間が変わります。必ずしも掲載の充電時間をお約束するものではありません。(特に夏季・冬季には充電時間が変化することがあります) ※2 駆動用バッテリー温度が約25℃、バッテリー残量警告灯が点灯した時点から、満充電までのおおよその時間。約6kWで充電を行なう場合は、6kW充電対応の普通充電器(スタンド)が必要になります。 ※3 駆動用バッテリー温度が約25℃、バッテリー残量警告灯が点灯した時点から、充電量80%までのおおよその時間。特に急速充電の場合、夏季・冬季には充電時間が長くなる場合があります。 ※4 WLTCモード交流電力量消費率(国土交通省審査値)に基づく。2026年10月現在、スズキ調べ。 ※5 交流電力量消費率および一充電走行距離は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて値は大きく異なります。 ※6 WLTCモード：市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード：信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード：信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード：高速道路等での走行を想定。

*WLTC=Worldwide-harmonized Light vehicles Test Cycle

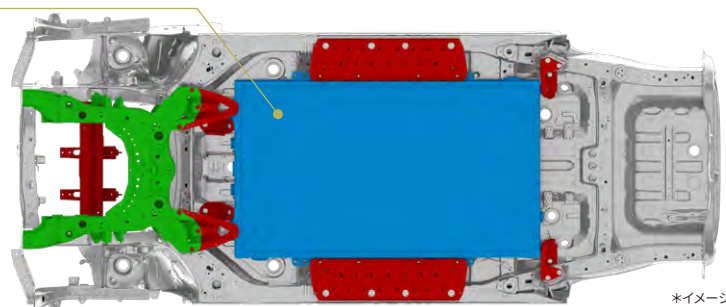
EV専用プラットフォーム「HEARTECT-e」を新型「e SKY」向けに新設計

床下に効率よく駆動用バッテリーを配置し、軽量・高剛性なボディーを実現しました。高いボディー剛性と効率的なパッケージングにより、ゆとりのある室内空間と安定感のある走りを実現しました。



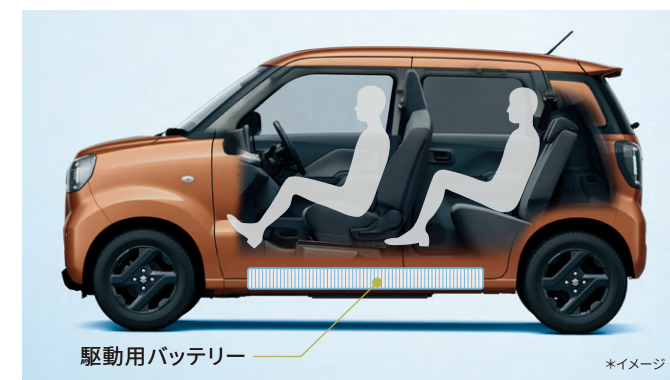
駆動用バッテリーの有効活用

高剛性で重量のある駆動用バッテリーを車体の一部として活用することで車体全体の剛性が向上し、路面からの振動が伝わりにくくなり、室内の騒音を低減。



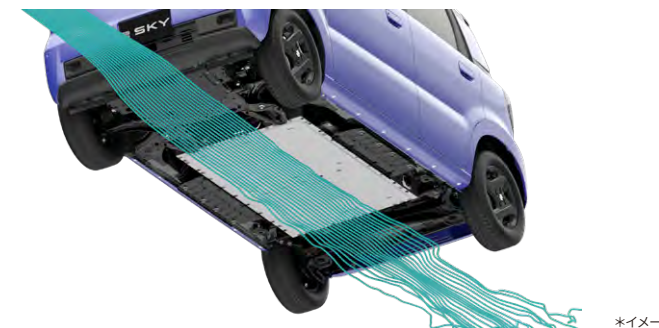
最適なバッテリーレイアウト

超薄型の駆動用バッテリーを床下に配置。十分なバッテリー地上高で安全性を確保しながら、広い室内空間・快適な乗車姿勢を高次元で両立。



優れた空力性能

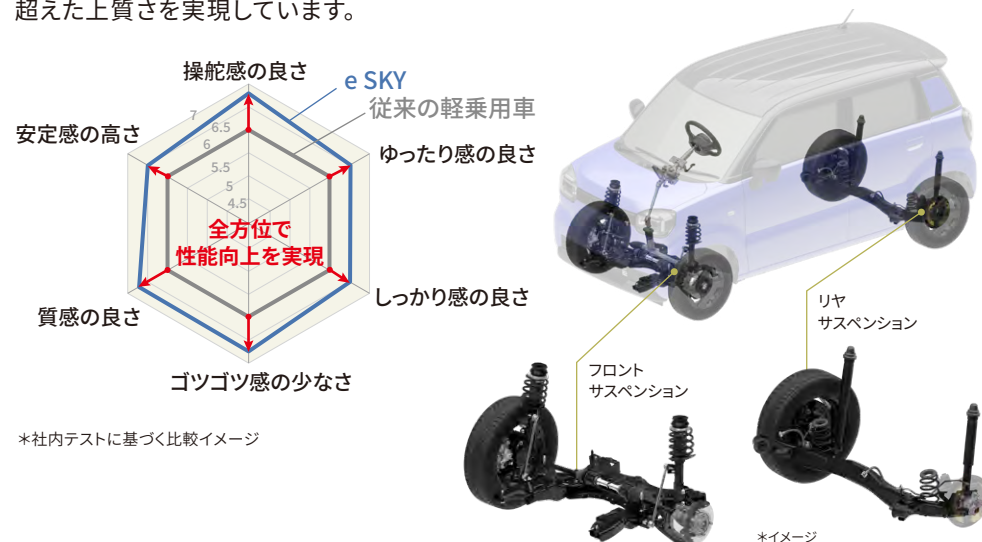
走行時の空気抵抗を低減することで電力消費を抑え、航続距離の向上に貢献。



軽EVプラットフォーム専用のサスペンション

●乗り心地、操縦安定性を高レベルで実現する足まわり

EV化によって車両重量が増加しても、ガソリン車から乗り換えた際に違和感なく運転できる操縦安定性を確保しています。また日常の足だからこそ快適さを求めた乗り心地でクラスを超えた上質さを実現しています。



軽EVプラットフォーム専用サスペンションを開発しEVに求められる性能と軽自動車のメリットを両立

イージードライブペダル X

e SKYは、アクセルペダルで加減速操作が可能なイージードライブペダルを採用しています。広い車速域で、アクセルを緩めたときの減速度を十分に確保しているため、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み替え操作を減らしてドライバーの負担を軽減します。

※アクセルペダルを離しても車両を停止させることはできません。停車時はブレーキペダルを踏んでください。

長い一充電走行距離とスムーズな減速を実現するブレーキ

●回生協調ブレーキ

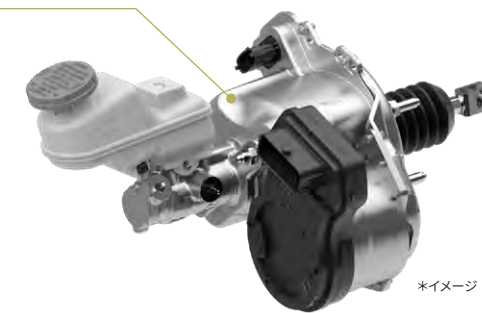
減速時にモーターにより駆動用バッテリーに充電する回生ブレーキを最大化しつつ、摩擦ブレーキへの切替時に発生する減速度のムラを抑えることで、ガソリン車と同じ感覚のブレーキ操作を目指しました。

●電動ブレーキブースター

回生協調ブレーキにおける自然な減速を可能にする電動ブレーキブースターを、スズキの軽自動車ですべて採用しました。

●ブレーキ引きずり低減機構

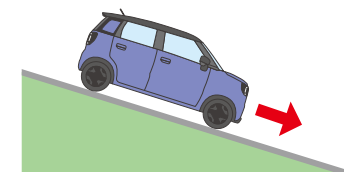
通常のブレーキは、ドライバーがブレーキペダルを踏む前からブレーキ部品どうしをわずかに接触させています。e SKYは、緊急時の反応を損なわず、ブレーキペダルを踏んでいないときの部品接触を低減する機構を採用しています。



新たな機構により
ガソリン車から乗り換えても違和感のない減速と
十分な一充電走行距離に大きく貢献

下り坂での回生ブレーキアシスト

EVはエンジンブレーキがなく、下り坂でスピードが出やすい特性があります。e SKYは走行中に下り坂に進入すると速度を一定に抑えることで、スピードの出過ぎを防ぎ、安全運転をサポートします。



※30km/h以上で5～20%程度の下り坂を走行した場合に作動。 ※車両状態によっては速度を一定に保てない場合があります。 ※制御性能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。 ※状況によっては正常に作動しない場合があります。

スマートなデザインと、使い勝手の良い装備・機能を実現

使い勝手の良い装備で、日々のドライブが快適になることを目指して開発しました。機能的なレイアウトとスマートなデザイン性を両立し、初めてEVに乗るお客様でも安心です。

使いやすく便利な収納・快適装備

スマートフォンや小物の収納に便利な2段構造のセンターコンソールの採用が大きな特長です。いずれも日常使いに優しい収納です。

① インパネトレイ（助手席）



④ USB電源ソケット [Type-C、PD※1対応] (インパネ)

X G 全方位モニター付ディスプレイオーディオ・スズキコネクテッド対応通信機装着車 ※2

⑤ オーディオ接続用USBソケット [Type-C] (インパネ)

X G 全方位モニター付ディスプレイオーディオ・スズキコネクテッド対応通信機装着車 ※2



② センターコンソールアップパートレイ/
センターコンソールロアトレイ



③ グローブボックス



⑥ インパネドリンクホルダー (運転席、助手席)



⑦ フロントドアポケット
[ペットボトルホルダー付] (両側)



⑨ AC電源コンセント X
[100V、1500W]
[非常時給電モード付]
(フロアコンソールトレイ後方)



⑧ フロアコンソールトレイ X

※1 PD=Power Delivery対応デバイスへの急速充電が可能です。1ポート最大45W。 ※2 全方位モニター付ディスプレイオーディオ・スズキコネクテッド対応通信機装着車はメーカーオプションです。

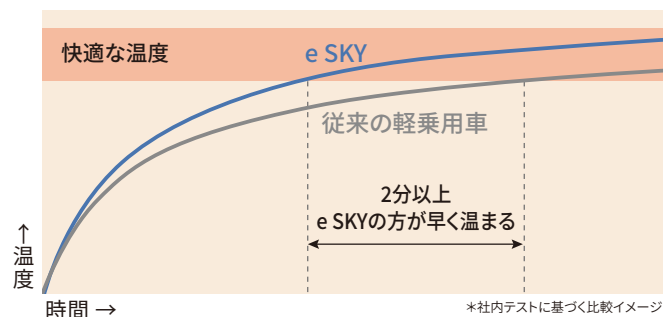
冬に活躍する機能・装備

シートヒーターやステアリングヒーターをはじめとした、冬でも快適に過ごせる機能を標準装備。寒冷時の暖房使用を抑え、一充電走行距離の低下を抑制します。



シートヒーター（運転席、助手席） X G

従来の軽自動車よりも、温められるエリアを約1.7倍に拡大。とももを全面的かつ効率的に温められます。



ステアリングヒーター X G

ステアリングを素早く温めたあと、温度変化が小さく快適なステアリングヒーターを開発しました。



毎日の使用シーンに寄り添う室内装備

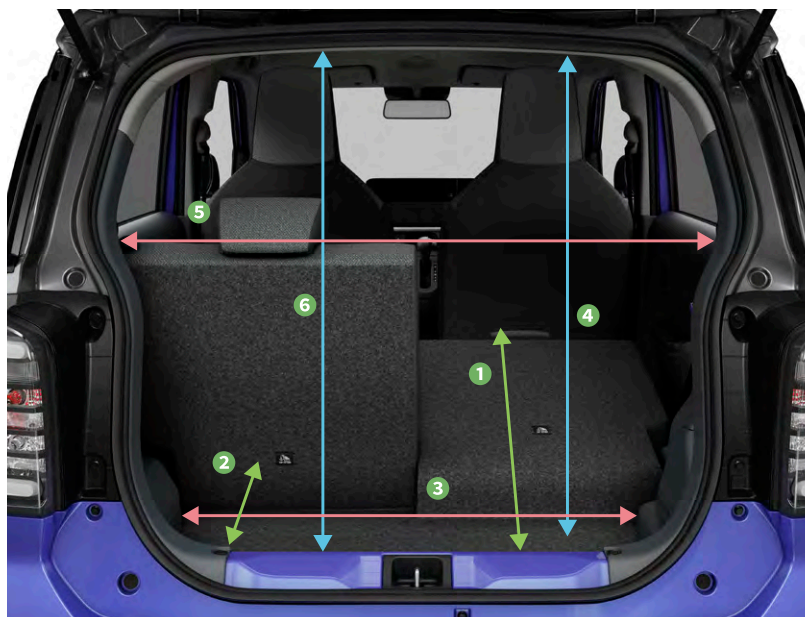


使い勝手の良い荷室

後席はシートを倒さずにショッピングバスケットが載せられます。シートバックは50:50分割で、3人乗車＋荷物の大きさに合わせて調整が可能です。



音声でシフトポジションをお知らせ



後席のシートバックを倒すことで、荷室長が1,265mmに拡大。積む荷物に応じてスペースをアレンジできます。

① 荷室長(2名乗車時:最大)	1,265mm
② 荷室床面長(4名乗車時:最大)	430mm
③ 荷室床面幅	845mm
④ 荷室高	885mm
⑤ 荷室開口幅	945mm
⑥ 荷室開口高	775mm

*社内測定値

環境に配慮したエコなものづくり 内外装の加飾メッキ削減に加え、サステナブル素材を積極活用

スズキ初 新エンブレムを採用

従来のクロームメッキを高輝度シルバー塗装にあらため、環境負荷の低減を目指すとともに、新しい時代への変化を表現しています。



植物由来の樹脂材料

フロントマスクのアップパーガーニッシュに、環境にやさしいバイオマスポリカーボネートを採用。



リサイクルペット

ペットボトルをリサイクルしたカラーMIX樹脂を採用。



スズキ初 モノマテリアル・フロアマット

100%リサイクル可能な環境にやさしいフロアマットを採用。将来的なリサイクルを考慮し、約70%のCO₂排出削減^{※1}を実現しています。

従来品より
約40%^{※2} 軽量化



※1 フロアマットの原材料製造に係るCO₂排出量比較、スズキ調べ。
※2 永大化工株式会社小型車用フロアマット従来製品標準重量との比較。
*フロアマットは販売会社装着アクセサリです。



10.1インチの大画面ディスプレイで、ナビは使いやすく、映像は見やすく！

使いやすく大きな画面のディスプレイオーディオで、充電中の室内でも快適な時間を過ごせます。

スズキ
国内初

ナビやスマートフォン連携の利便性を向上させ、EV充電中の映像コンテンツをより楽しんでいただけるよう、スズキ国内初の10.1インチディスプレイオーディオを採用しました。



大画面

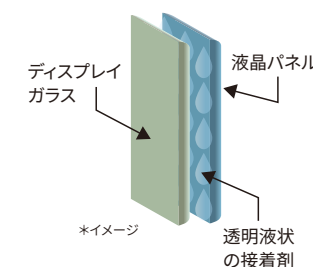
急速充電などにより室内で過ごす時間が増えることも想定し、映像コンテンツに最適な縦横比を採用しています。



10.1インチ(アスペクト比16:9)

視認性

ディスプレイガラスと液晶画面の間に透明液状の接着剤を使用することで、光の屈折や反射を抑え、視認性を高めています。



機能

数多くの機能に対応することで、高い利便性を実現しました。

対応機能

- AM/FMラジオ
- 音楽再生USBメモリー
- 音楽再生Bluetooth® ※2
- フルセグTV
- スマートフォン連携 ※3
- HDMI入力 など

*HDMI入力のご利用には、別途、販売会社装着アクセサリ（HDMI接続ケーブルと市販品のHDMI変換ケーブル）が必要です。スマートフォンの機種、アプリ等によってはディスプレイオーディオに動画が表示されない場合があります。



※1 全方位モニター付ディスプレイオーディオ・スズキコネクト対応通信機装着車はメーカーオプションです。 ※2 機種によっては、Bluetooth®の音楽再生は使用できない場合があります。 ※3 スマートフォンの機種、ソフトウェアによっては、別売りのケーブルが必要となります。また対応していない機種もあります。Apple CarPlayは、Apple Inc.の商標です。Android Autoのご使用には、Android 5.0以降が搭載されたAndroid端末、有効なデータ通信プラン、及びAndroid Autoアプリが必要です。Android AutoはGoogle LLCの商標です。 *Bluetoothは米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

最新の地図データと交通情報で最適なルート案内を可能にする「つながるナビ」

「便利で使いやすいナビを提供したい」「EVで出かける際の不安を解消したい」。そんな想いから開発されたのが「つながるナビ」です。センター通信型のため、最新の地図データによるルート検索、駐車場や充電スタンドの満空情報などがリアルタイムに更新されます。また、充電残量をもとにさまざまな場面で充電の案内を行ないます。

リアルタイムな情報で最適なルート検索が可能に

リアルタイムな交通情報をつかって、最適なルートを案内します。いつでも最新の地図が使えます。



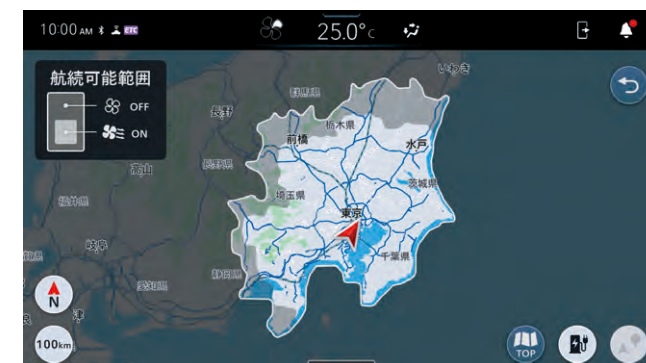
駐車場と充電スタンドの満空情報

ワンタッチで駐車場と充電スタンドの満空状態が分かります。



航続可能範囲表示

道路勾配、信号の数や道路の種類、走行速度などを複合的に計算し、目的地までのバッテリー残量を予測することで、精緻に走行可能な範囲の表示をすることができます。



目的地までの充電をサポート

一般道や高速道路の道路状況や交通情報などから到着時のバッテリー残量を予測し、ルート沿いの充電スタンドを提案。長距離移動でも安心して快適に走行できます。



バッテリー残量低下案内

走行中にバッテリー残量が少なくなった場合、バッテリー残量低下案内画面が表示され、周辺の充電スタンドに立ち寄るかを確認できるので安心です。



スマートフォンから目的地設定(おでかけプラン)

アプリで設定した目的地をナビへ自動転送。乗車後のナビ案内から、到着後の徒歩ルート案内まで、シームレスなおでかけをサポートします。



予 防 安 全

SUZUKI
Safety Support

スズキの予防安全技術

安心して、楽しくスズキのクルマに乗っていただきたいという
想いから生まれた「スズキ セーフティ サポート」。
事故を未然に防ぎ、お客様の万一のときの安全を確保するために、
運転をサポートする様々な技術で、ヒヤリとする場面も
限りなくゼロに近づけていきます。

街 中 で の 運 転 サ ポ ー ト

デュアルセンサー
ブレーキサポートII発進お知らせ
機能標識認識
機能

駐 車 時 の サ ポ ー ト

誤発進
抑制機能後方誤発進
抑制機能低速時ブレーキサポート
(前進・後退)全方位
モニター用カメラ※
X G 全方位モニター付ディスプレイオーディオ・
スズキコネクスト対応通信機装着車

高 速 道 路 で の 運 転 サ ポ ー ト

アダプティブクルーズコントロール(ACC)
[全車速追従機能・停止保持機能付] X車線維持
支援機能 X車線逸脱
抑制機能車線逸脱
警報機能ふらつき
警報機能

ハイビームアシスト

夜 間 時 の 運 転 サ ポ ー ト

※全方位モニター付ディスプレイオーディオ・スズキコネクスト対応通信機装着車はメーカーオプションです。

衝 突 安 全

衝撃吸収ボディー構造

全てのお客様に対して、より安全なクルマを提供するため、2つの課題を克服しました。

① シートベルトによる胸部圧迫の緩和

衝突による乗員の死傷は、シートベルトによる胸部圧迫も大きな要因となります。e SKYはシートベルトの締めつけ力を緩和しつつ、乗員のインパネ方向への押し出しを軽減するため、衝突エネルギーを効率よく吸収する車両構造を採用しています。

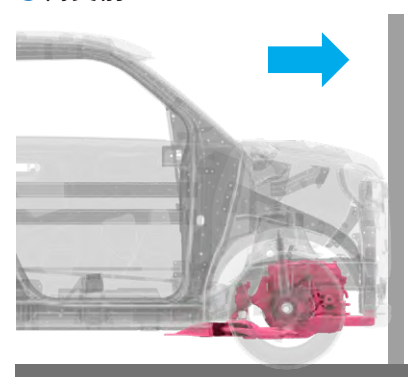
② クルマ対クルマの衝突による衝撃の緩和

クルマと衝突した際の「自車保護性能の向上」と「相手車両へのダメージ低減」を図るため、衝突エネルギーを広い面で受け止めて吸収する構造を採用しています。

サスペンション
フレーム離脱構造

サスペンションフレーム（モーター含む）をクルマから離脱させることで、モータールームでエネルギーを吸収。乗員への衝撃を緩和します。

●衝突前



●衝突中

サスペンション
フレーム離脱

*イメージ

おすすめスタイル

インパネオーナメントデカール



クォーター
ガーニッシュ
デカール



サイドドアガーニッシュ



MILD SPORTY 動き出す楽しさ、日常に彩りを。

フードデカール



ドアミラー
カバー



フェンダー
ガーニッシュ



ドアハンドル
プロテクター



LEDフォグランプセット



インパネオーナメントデカール



クォーター
ガーニッシュ
デカール



充電リッド
ガーニッシュ



バックドアガーニッシュ



neo future 感性で加速する。未来へ駆け抜ける。

フードデカール



ドアハンドル
プロテクター



フェンダー
ガーニッシュ



LEDフォグランプセット



ホイール
アクセント※



チャージング

充電ケーブルリール／
普通充電コネクタホルダー／
コントロールユニットホルダー

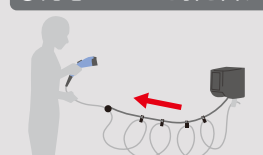
200V(3kW) EV充電用コンセントに
組み合わせるアイテム。

※販売会社装着アクセサリの充電
ケーブル(15m)は充電ケーブルリール
と同時装着できません。

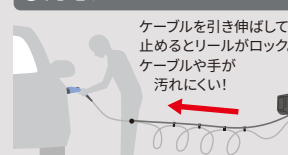


充電ケーブルリールの使い方

① 充電ケーブルを引き出す

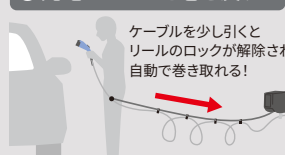


② 充電する

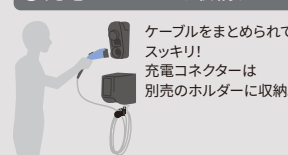


ケーブルを引き伸ばして
止めるとリールがロック。
ケーブルや手が
汚れにくい!

③ 充電ケーブルを巻き戻す



④ 充電コネクタを収納する



ケーブルをまとめられて
スッキリ!
充電コネクタは
別売のホルダーに収納。

EV充電ケーブル
収納バッグ

※写真の充電ケーブルは7m



充電ケーブルアダプター



ラゲジアンダー
ボックスヘジャスト
フィットで収納でき
ます。

充電ケーブルアダプター
を使用することで、外出先など
の100Vコンセントから車両
への充電が可能です。万が一
の電池残量不足に備えた
安心アイテムです。

※ホイールアクセントは、新型「e SKY」Xに標準装備のアルミホイールセットおよび同一仕様のアルミホイールセットに装着可能です。詳しくは各販売会社へお問い合わせください。